



# 愛宕坂だより



春号 No.80 2025.4.20

発行：福井市愛宕坂茶道美術館・福井市橘曙覧記念文学館

福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

## 利休ゆかりの茶道具

開催中～6月22日(日)

茶聖・千利休。千利休は安土桃山時代に活躍した茶人です。織田信長、豊臣秀吉の茶頭を務め、「天下一」の宗匠としてその茶風は一世を風靡しました。本展では千利休に関連した茶道具をご紹介します。

千利休の息子・千道安の茶杓や、豊臣秀吉の書状、利休の高弟であった古田織部ゆかりの道具など、見どころが沢山の内容です。

季節は春から夏へ、自然豊かな愛宕坂にぜひお越しください。

◆展示解説 ※要観覧券  
4月27日(日)、5月11日(日)、  
6月7日(土) 自由参加  
いずれも14時から30分程度



珠光青磁茶碗(中国・宋時代)



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

## 福井の川にまつわるエトセトラ

開催中～6月29日(日)

川は、その豊かな水で人々の暮らしを支えるだけでなく、四季折々に自然豊かな表情を見せて、私たちの目を楽しませてくれます。

九頭竜川や足羽川など、福井にはたくさんの美しい川が流れています。福井に暮らした文学者たちや訪れた作家たちは、福井の川のある風景に触れ、折々に作品に描いてきました。福井の歌人 橘曙覧もその一人。

本展では曙覧の作品を入り口に、近世から近代にかけて残された、福井の川にまつわる文学作品をご紹介します。作品を通して、みなさんの身近な川を見つめなおしてみませんか。

◆展示解説 ※要観覧券  
4月20日(日)、5月10日(土)、6月8日(日)  
自由参加 いずれも14時から30分程度



福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

## 深ぼり☆茶入の魅力

6月27日(金)～10月19日(日)

濃茶を入れる容器である茶入。古い時代の中国製のものは「唐物茶入」と呼ばれ、国宝級の茶道具です。

織田信長は、茶色の小さい壺にしか過ぎないこの茶入に一国一城の価値を与え、戦国武将たちの垂涎の道具に変えました。茶入には、一体どんな魅力があるのでしょうか。

展覧会では、茶入の魅力をじっくりと掘り下げてお伝えします。

◆展示解説 ※要観覧券  
7月21日(月・振休)、  
8月24日(日)、9月15日(月・祝)  
いずれも14時から30分程度  
自由参加です。



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

## 曙覧さん、月をうたう

7月4日(金)～10月26日(日)

橘曙覧は、季節によって異なる月の情景を和歌でうたいました。曙覧の歌を通して様々な月の美しさをご紹介します。

## 受講者募集のお知らせ

### はじめの一步! 短歌1dayレッスン

これから短歌をはじめめる方向けの入門講座です。短歌の基礎から学ぶことができます。

とき：7月19日(土) 13:30～15:30  
講師：武下奈々子氏(「短歌人」同人、NHK学園短歌コース講師)  
会場：アオッサ6階研修室603(福井市手寄1丁目4-1)  
受講料：800円 定員：30名(抽選) ※小学生以上対象  
申込み：往復はがき、メール、申込みフォームで受付。①講座名②住所③氏名④電話番号⑤年齢を書いてお申込みください。  
1通につき2名まで申し込み可。  
〆切：6月23日(月) 必着



## いろいろトピックス

◆美術館 ◆文学館

### ◆大福茶のふるまい



1月5日(日)、大福茶のふるまいを行いました。大福茶とは、緑茶に結び昆布と小梅が入ったもので、今年1年の無事を願って飲むおめでたいお茶です。毎年

行っていますが、今年は金箔が入り、ますます縁起の良くなったお茶を提供しました。

### ◆愛宕坂でお茶しましょ♪ 季節のお菓子と抹茶

令和6年度から季節に合わせた手作りの和菓子を楽しんでもらう企画を行っています。今年に入ってから、1月26日(日)「花びら餅」、2月11日(火・祝)「チョコレート羊羹」、3月20日(木・祝)「ふの焼」の3回を開催しました。

3月は、現在開催している企画展「利休ゆかりの茶道具」にあわせて、千利休が茶会で出したといわれるお菓子「ふの焼」を用意しました。



毎回参加しているというお客様もいて大変好評を得ています。今後も、月に1回のペースで開催予定です(夏季は除く)。皆様のお越しをお待ちしています。

### ◆桜茶のふるまい



4月5日(土)、6日(日)に桜茶のふるまいを行いました。塩漬けされた桜が一輪入ったお茶とお菓子をお出ししました。今年は桜の開花が少し遅

くなったため、満開の花の時季に行うことができました。桜を目で楽しみ味わって楽しみ、大満足のお茶になりました。

### ◆開館25周年記念

#### 曙覧さん焼印おまんじゅうの呈茶

4月10日に文学館が開館25周年を迎えたことを記念して、4月12日(土)、13日(日)の2日間、曙覧のイラストが焼印で押されたおまんじゅうを提供しました。

可愛い「曙覧さん」と「たのしみは♪」が描かれたおまんじゅうは、来館者にとっても喜ばれました。



愛宕坂だより 春号 No.80 (2025.4.20)

◆福井市愛宕坂茶道美術館

〒918-8007福井市足羽 1-8-5 TEL/0776-33-3933

e-mail:sado-a@do-spot.net

◆福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007福井市足羽 1-6-34TEL/0776-35-1110

e-mail:akemi-t@do-spot.net

## 参加者募集のお知らせ

### ◆古典をたのしむ美文字レッスン

今年は『枕草子』を題材に文字の練習をします。古典文学をたのしみながら美文字を目指してみませんか? 3回連続講座

とき: 6月22日(日)、7月20日(日)、  
8月31日(日)

各回 10:00~11:30

講師: 吉水奈方子氏(書道講師)

会場: 愛宕坂茶道美術館 4階

参加費: 1,700円



(3回分一括前納 練習用ペン、材料代含む)

定員: 20名(抽選) ※中学生以上対象

申込み: 往復はがき、申込みフォーム、メールで受付。必要事項を記入してお申し込みください。

①講座名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤年齢、⑥ご希望の筆記用具(ペンまたは筆ペンを選択)。1通につき2名まで申し込み可。〆切: 6月3日(火)

### ◆金継ぎってどんなワザ?

~駒本先生(駒本蔭絵工房)のお話とちょこっと体験~

金継ぎの技について知識を深める講座です。

※金継ぎ教室ではありません。体験できる部分は金継ぎ作業の一部です。2回連続講座

とき: 7月27日(日)

1班: 10:00~11:00 2班: 11:30~12:30

8月3日(日)

1班: 13:30~14:30 2班: 15:00~16:00

ところ: 愛宕坂茶道美術館 4階

定員: 各班 10名(抽選)

参加費: 受講料 1,100円 + 金継ぎ料金 2,000円 ~  
(修理する器の状態、数で金額が変わります)

指導: 駒本長信先生(駒本蔭絵工房)

申込み: 電話、FAX、館メール受付。

希望の時間帯、氏名、年齢、住所、電話番号をお知らせください。〆切: 6月27日(金)

### 愛宕坂茶道友の会 茶会のお知らせ

とき: 4月27日(日)「清明の茶会」

6月8日(日)「水無月の茶会」

参加費: 一般 1,000円 友の会会員: 800円

申込みは、開催日前週の水曜日、午前9時から美術館の窓口、電話にて受付。詳細については美術館までお問い合わせください。

### — 休館日のご案内 —

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)

展示替のため、下記の期間は臨時休館します。

愛宕坂茶道美術館 6月24日(火)~26日(木)

橘曙覧記念文学館 7月1日(火)~3日(木)